岐阜県政記者クラブ加盟社各位

令和８年１１月２７日（金）岐阜県発表資料			
担当課	担当係	担当者	電話番号
農業経営課	経営強化係	岡田	内　線 4085 直　通 058-272-8433 ＦＡＸ 058-278-2686

【全国初】県内３団体が「ノウフク・アワード２０２６」を同時受賞しました

県では、農業分野の担い手不足の解消と障がい者等の就労機会の確保のため、ぎふ農福連携推進センター（一般社団法人　岐阜県農畜産公社）と連携し、農福連携の推進に取り組んでおります。

このたび、全国の農福連携に取り組む優れた事例を表彰する「ノウフク・アワード２０２６」において、全国１９６団体の応募の中から２１の受賞団体が発表され、県内からは３団体が受賞しました。同一県で３団体が同時に受賞するのは全国初となります。

記

１　ノウフク・アワード２０２６

県内受賞団体

優秀賞

・国立大学法人東海国立大学機構岐阜大学 応用生物科学部附属
岐阜フィールド科学教育研究センター（岐阜市・教育機関）
・株式会社マテリアル東海（下呂市・農業経営体）

フレッシュ賞　※取組開始５年以内の団体が対象

・中電ウイング株式会社（可児市・特例子会社）

※各団体の取組は別紙資料参照

※表彰式は令和８年１１月３０日（月）に都内で開催される予定です。

２　県内受賞歴

（１）県内では今回を含めて延べ１０団体が受賞しており、都道府県別で全国最多

（２）２０２１年度から６年連続の受賞は岐阜県のみ

３　県の推進体制

（１）令和６年４月に岐阜県の外郭団体である（一社）岐阜県農畜産公社内に農福連携のワンストップ窓口として「ぎふ農福連携推進センター」を設置。農作業受委託のマッチング支援や各種助成支援等を実施。

（２）令和２年に県内１０か所の県農林事務所単位で、市町村や関係機関から構成される農福連携の「地域連携会議」を設置。各地域における取組の拡大や定着を推進。

（３）ぎふ農福連携推進センターと地域連携会議が連携し、農福連携を推進。

ノウフク・アワード

農業と福祉が連携する「農福連携」の優れた取組を、表彰を通じて実践者を応援し、その価値を多くの人に知ってもらい、地域社会に根付かせるための表彰制度です。

・主催：農福連携等応援コンソーシアム（事務局：農林水産省）

・２０２０年度から毎年開催